

分かりやすい文章を書かせるための指導の工夫

～作文メモを活用して～

2年生の国語実践

はじめに

県小教研学習指導改善調査（H19.7）の結果から当校の課題が明らかになったが、その一つに「段落を構成して分かりやすく文章を書くこと」がある。書く単元として2年生は、「～書いて知らせよう～かんざつ名人になろう」を6月に学習している。しかし、児童は、観察したことを箇条書きのメモに表すことはできたが、メモをただ書き写すだけで、分かりやすい文章にはならなかった。

そこで、2学期の実践では、作文メモを活用しながら、順序やつながりを考えて分かりやすい文章を書くことをねらいとして取り組んだ。

1 実践の概要

当校の課題や児童の実態を受けて、作文を書くためのステップを次のように考えた。

- ① 目的意識を持ち、話題を集める。
- ② 書きたい話題を選び、作文メモに書き表す。
- ③ 作文メモを並び替えて、書く順序を決める。
- ④ 「はじめ」と「おわり」を付ける。
- ⑤ 順序を表す言葉を用い、つながりを意識して書く。
- ⑥ 段落を付けたり、習った漢字を使ったりして書く。

また、国語科で学習したことが他の場面でも活用できるように、生活科でも作文指導を行った。

(下表)

月	教科	単元名	ねらい
9月	国語	あったらいいな、こんなものメモを並び替える練習をしよう	順序を考えてスピーチメモを書く。 どの順序に並べたらよいか考えて書く。
	生活	やぎ日記を付けよう(11月まで)	気付いたこと、感じたことを日記に書く。
10月	生活	地域の人にやぎの自己紹介をしよう	知らせたい話題を選び、順序に気を付けて書く。
11月	国語	こんなお話を考えた	「はじめ」「なか」「おわり」を考えてお話を作る。
	生活	やぎにお別れの手紙を書こう	伝えたい話題を選び、「はじめ」「おわり」を付けて手紙を書く。
12月	国語	一本の木	順序に気を付けて説明文を書く。

2 指導の実際

発表を聞き合い評価

「あったらいいな～」では、単元の最後にメモを並べ替える練習をさせた。さらに、並び替えたものを発表し合い、児童に評価させた。児童は、友達の発表を聞き「順序がよいか」「急に内容が飛んでいないか」などを判断したり、アドバイスしたりすることができた。また、友達のよい発表を聞いて、どのような順序にすると分かりやすいよい文章になるかを考えることができた。

あつたらいいこんなもの（書くトレーニング）

名前

●書き手が、はびろうを、書きました。
 分かりやすい、はびろうに、はびろうに、メモを、たひかえ、
 はびろうけきを、書きましよう。

う
 大きさは、わたしが、バナナやパイヤ、
 手をのばせばとど、などの、南の国のく、
 くらいらい。

1
 一年中、くだものが、
 なる木「くだもの王、
 国」

4
 とりがやってきて、
 も、とどんななるか、
 らだじしようぶ。

2
 一本の木にりんご、
 やぶどう、みかん、
 どいろいろなくだ、
 ものがなる。

作文メモの並び替えの練習。
 友達同士で発表を聞き合った。

はあたらいいこんなもの

わたしは、あつたら、
 いいなて思いうものは、
 一年中、くだものがな、
 る木へくたもの王国、
 です。

一本の木にりんご、
 ぶどう、みかん、いろ、
 いろなくたものがたり、
 ます。

大きさは、わたしが、
 手をのばせばとどく、
 くらいです。

とりがやってきて、
 だものを食べられて、
 どんどんなるから、だ、
 じようぶです。

バナナやパイヤ、
 どの、南の国のくだ、
 もの、なり、ます。

目的意識もたせて

手紙やスピーチの原稿を書くときには、必ず目的意識や相手意識をもたせた。例えば、「他学年の児童に発表しよう」「お別れするやぎに手紙を書こう」などである。児童は、目的意識をもつことにより、それに適する話題を選ぶことができた。また、「はじめ」「おわり」を付けるときには、どこで誰に発表するのか（読んでもらうのか）を意識しながら、それに合った書き始めや結びを考えて書くことができた。



発表会では、参観者からも「分かりやすいか」を評価してもらった。

やぎの自己紹介文を体育館に掲示。いろいろな人に読んでもらった。



3 成果と課題

- 作文メモを書いたことにより、初めから意味が通じる作文が書けるようになった。また、段落を付けて書けるようになった。
- 書いたものを友達同士で発表し合い評価することにより、順序や書き始め、結びを考えて書くことができるようになってきた。
- 国語科だけでなく生活科でも指導してきたことにより、書き方にも慣れ、実際に手紙を書くときにも活用できた。
- 順序を表す言葉を学習したので、今後活用していけるように機会を作っていく。
- 作文メモを生かして「読む力」を付けていく。(文章のまとまりを捉え、小見出しを付けるなど。)